

株式会社 中成

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間：2022 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日)



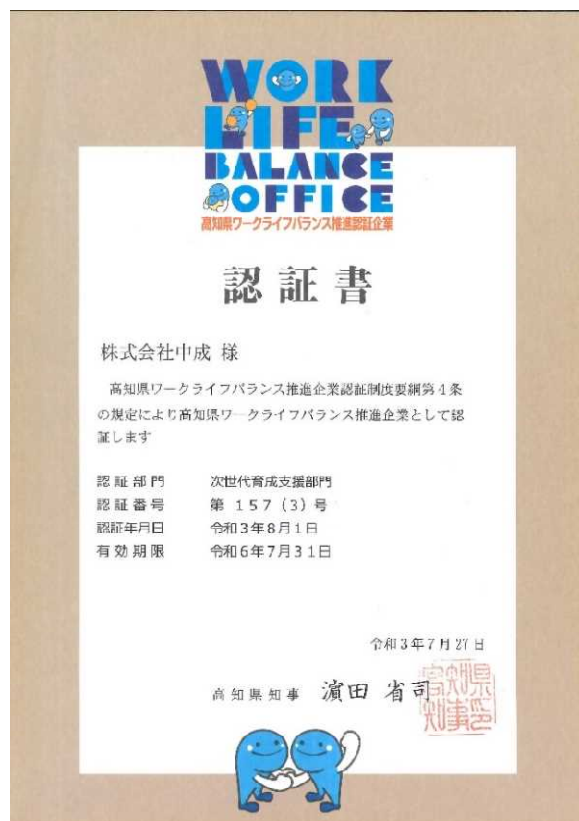
森と人をつなぐ企業でありたい



作成日：2023 年 7 月 31 日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2 ～ 3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5 ～ 6
環境経営目標の取組結果とその評価	7 ～ 8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10



環境経営方針

〈環境経営理念〉

株式会社中成は、高知県津野町に在する「森と人とをつなぐ企業」として、製材業及び建設業を通じ、生活の中で木のぬくもりを伝えることを目指しています。

集成材用原板・建築資材・住宅資材の製造、高知県産材利用の木造建築の施工のほか、端材の燃料用チップ化や未利用材の木質バイオマス製造など、木を余すことなく有効活用を行っています。

これらの事業活動のあらゆる場面を通じて環境保全を意識し、環境負荷の低減を図るなど、持続可能な社会の構築に向けて、自主的・積極的に取組むものいたします。

〈環境保全への行動指針〉

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 製材工場等での電力使用量による CO2 排出量を削減します。
3. 重機・車両の燃料使用量による CO2 排出量を削減します。
4. 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを推進します。
5. 水使用量を削減します。
6. グリーン購入を促進します。
7. 木材加工業・木製品等加工においては、端材等の燃料用チップ化を図ります。
8. 未利用材を受入れ、木質バイオマス製造を推進します。
9. 建設業において県産材を利用し環境に配慮した建築物の設計・施工をします。
10. 生態系に配慮した取組を推進します。
11. 環境経営方針を全従業員へ周知します。また、環境経営レポートを作成し公表します。
12. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。
13. SDGs への取組を推進します。

制定日：2017 年 7 月 1 日

改定日：2020 年 6 月 30 日



株式会社 中成

代表取締役 中上 健介

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 中成

代表取締役 中上 健介

(2) 所在地

本 社 〒785-0502 高知県高岡郡津野町北川 4965 番地

宮谷工場 〒785-0502 高知県高岡郡津野町北川 5925 番地 1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 中上 康介

連絡先担当 西村 里美

連 絡 先 TEL : 0889-62-2158 fax : 0889-62-3481

e-mail : office.nakasei@wing.ocn.ne.jp

HP : <http://www.k-nakasei.com>

(4) 事業内容

木材・木製品加工業

製材（集成材原板・建築資材・住宅資材・建具等・燃料用チップ・製紙用チップ）

《製材 JAS 認定工場 認証番号 JLIRA-B-58-01》

木質バイオマス製造業

一級建築事務所

（設計・監理）《登録番号：高知県知事登録 第 1152 号》

宅地建物取引業

《免許番号：高知県知事 第 2808 号》

建設業

（建築施工）

建設業許可 特定建設業

許可番号 高知県知事 許可（特-30）第 9294 号

許可年月日 平成 31 年 1 月 10 日から令和 6 年 1 月 9 日まで

建設業の種類

建築工事業・大工工事業・左官工事業・とび土工工事業・石工事業・屋根工事業
タイルれんがブロック工事業・鋼構造物工事業・鉄筋工事業・板金工事業・
ガラス工事業・塗装工事業・防水工事業・内装仕上工事業・熱絶縁工事業・
建具工事業・解体工事業

工場設備（製材・建設）

ツインバンドソー 4 台・長尺台車・オートテーブル 2 台・オブテカット・マーキンググロスカットソー
ギヤングソー 2 台・高温蒸気式乾燥機 4 台・6 軸ホルダー・プレナー・直角プレナー・600 幅サンダー
ウッドハッカー Mega651STA132kw・311 グラップル・製紙用チップパー・リングバーカー・チップヤード
粉碎機 BR120T-1

（５）事業規模

設立年月日 昭和 63 年 6 月 28 日

資本金 2 0 0 0 万円

企業年商：1 3 億円（製材：1 0 億円 建設：3 億円）令和 4 年度

	年度 単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
売上高	百万円	8 5 3	1 3 3 5	1 3 8 3
従業員数	人	4 0	4 0	3 7
本社敷地面積	m ²	5, 4 1 5		
本社延床面積	m ²	2, 0 6 8		
宮谷工場敷地面積	m ²	5, 1 5 7		
宮谷工場延床面積	m ²	1, 1 2 6		

*従業員数は 4 月 1 日現在 事業年度 4 月 1 日～3 月 3 1 日

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 中成

対象事業所：本 社 高知県高岡郡津野町北川 4965 番地

：宮谷工場 高知県高岡郡津野町北川 5925 番地 1

対 象 外：なし

活 動：木材・木製品加工業

木質バイオマス製造業

建設業（建築施工）

一級建築士事務所（設計・監理）

宅地建物取引業

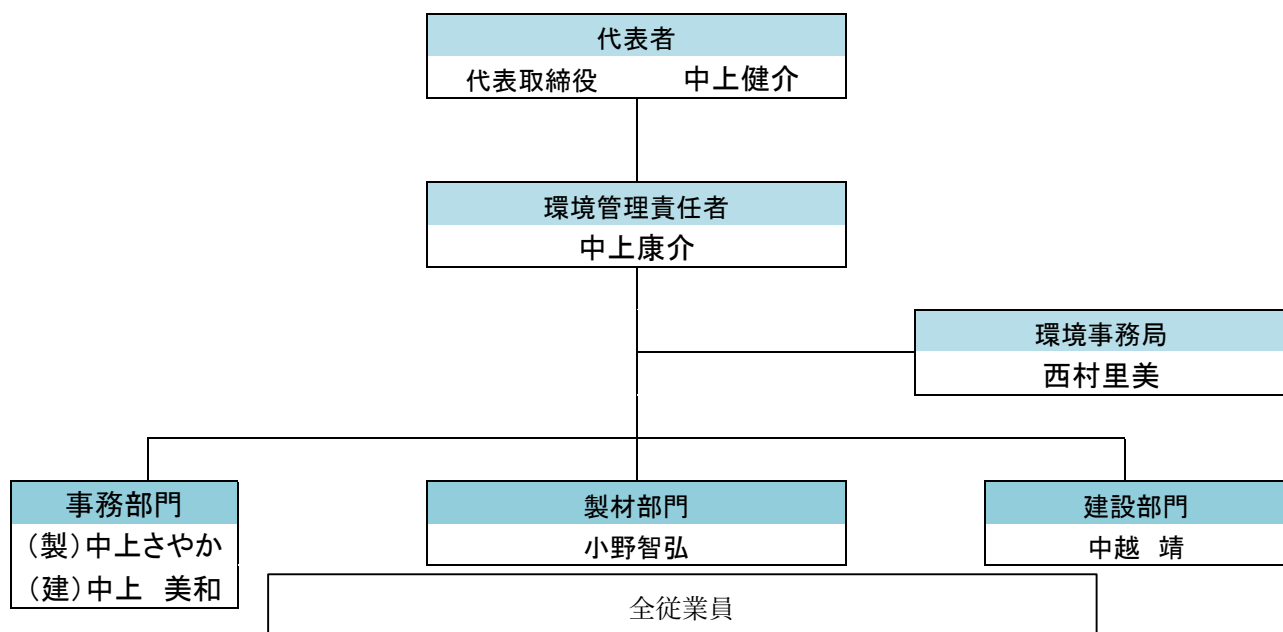
レポートの対象期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

環境経営レポートの発行日：令和 5 年 7 月 3 1 日

作成責任者：《環境管理責任者 中上康介》

次回環境活動レポート発行予定：令和 6 年 7 月予定

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



代表者	・環境経営に関する総括責任 ・環境経営に関する総括責任環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画の承認 ・代表者による評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境経営責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認 ・環境経営目標、環境経営計画を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック ・環境経営目標、環境経営計画案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく厳守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所へ備え付けと地域事務局へ送付）
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成、試行・訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的積極的に環境活動に参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020 年	2021 年	2022 年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	590,053	681,153	657,725
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	243	231	229.6
産業廃棄物排出量	kg	26,418	20,366	24,550
総排水量	m ³	392	444	203

※二酸化炭素排出係数は令和 2 年四国電力実排出量係数 0.550 kg-CO₂/kWh を使用

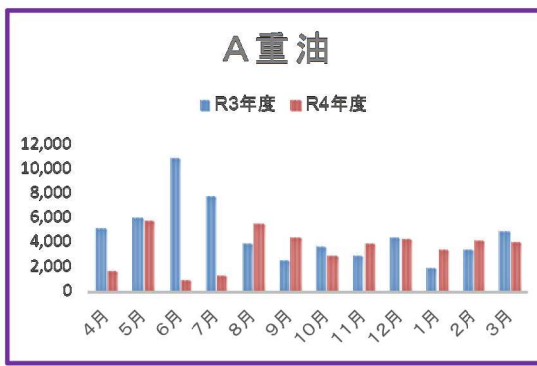
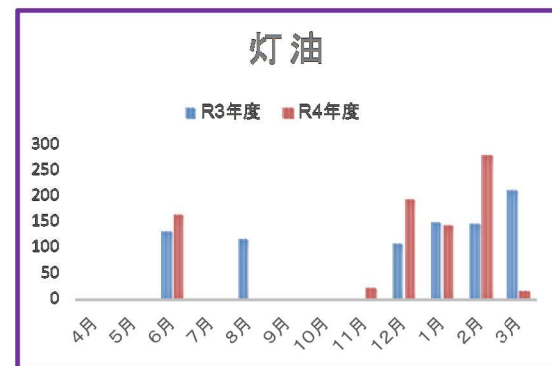
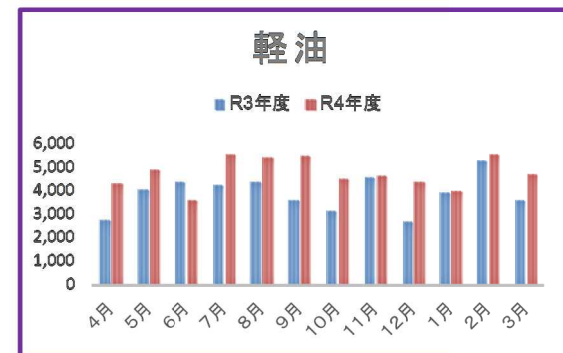
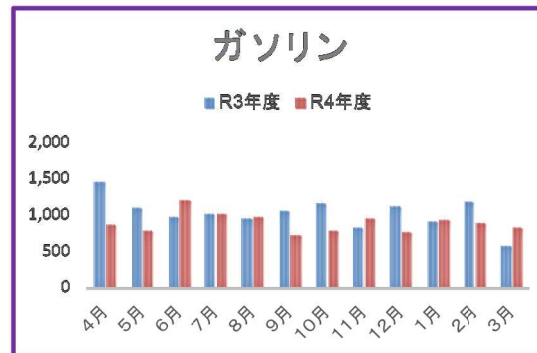
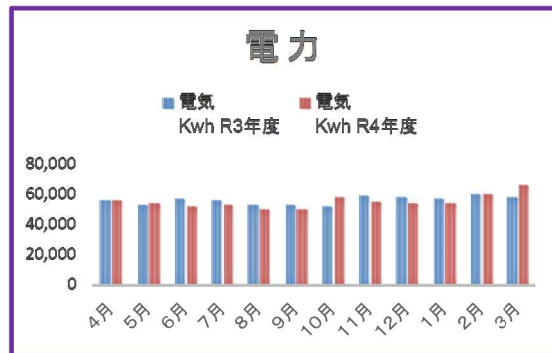
※負荷の実績は工事現場を含む

環境経営目標及びその実績

		2021年	2022年		評 価	2023年	2024年
		基準値	目標	実績		目標	目標
電力	KWh	677,130	670,359	668,174	○	663,587	656,816
	kg-CO ₂	372,421	368,697	367,496		364,973	361,248
	基準値比		99%	99%		98%	97%
ガソリン	L	12,379	12,255	10,805	○	12,131	12,008
	kg-CO ₂	28,719	28,432	25,069		28,145	27,857
	基準値比		99%	87%		98%	97%
軽油	L	46,877	46,408	57,234	×	45,939	45,471
	kg-CO ₂	120,944	119,735	147,663		118,525	117,316
	基準値比		99%	122%		98%	97%
灯油	L	867	858	824	○	850	841
	kg-CO ₂	2,159	2,137	2,052		2,116	2,094
	基準値比		99%	95%		98%	97%
A 重油	L	57,900	57,321	42,600	○	56,742	56,163
	kg-CO ₂	156,909	155,340	115,446		153,771	152,202
	基準値比		99%	74%		98%	97%
上記CO ₂ 合計		681,152	674,341	657,726		667,530	660,717
一般廃棄物	kg	231	229	230	×	226	224
	基準値比		99%	100%		98%	97%
産業廃棄物	kg	203,667	201,630	24,550	○	199,594	197,557
	基準値比		99%	12%		98%	97%
水道水	m ³	444	440	203	○	435	431
	基準値比		99%	46%		98%	97%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気 Kwh	R3年度	56,273	53,845	57,066	56,011	53,533	53,756	52,907	59,345	58,079	57,241	60,683	58,390	677,129
	R4年度	56,054	53,980	52,076	53,928	50,618	50,398	58,145	55,724	54,952	54,238	60,956	67,105	668,174
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ガソリン ℓ	R3年度	1,459	1,105	976	1,013	958	1,059	1,162	835	1,131	915	1,183	584	12,379
	R4年度	881	789	1,214	1,028	985	732	791	954	763	937	892	838	10,805
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽油 ℓ	R3年度	2,753	4,087	4,420	4,255	4,390	3,636	3,149	4,616	2,699	3,910	5,340	3,622	46,877
	R4年度	4,305	4,949	3,594	5,599	5,454	5,484	4,523	4,670	4,396	4,009	5,551	4,702	57,234
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
灯油 ℓ	R3年度	0	0	133	0	117	0	0	0	108	150	148	211	867
	R4年度	0	0	165	0	0	0	0	23	194	144	280	18	824
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A重油 ℓ	R3年度	5,200	6,000	10,900	7,800	4,000	2,600	3,700	3,000	4,400	1,900	3,500	4,900	57,900
	R4年度	1,700	5,800	1,000	1,300	5,600	4,400	2,900	3,900	4,300	3,400	4,200	4,100	42,600

9



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×まったくできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	各取組が出来ていたことと、建設関係では本年度は下請け工事が多く、自社での加工作業が減少したため電気使用量が減ったものと思われる。 今後も取組の継続を行う。
こまめに電気を消す	○	
デマンド管理をする	◎	
長時間使用しないものはコンセントを抜く	◎	
エアコンの設定温度（夏 28℃・冬 20℃）	○	
電子機器のエコ設定	○	

A 重油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	令和4年3月に設置した超省エネタイプの木材乾燥機を主に使ったことと、製品出荷量が減少したことにより目標達成。
内部の温度測定装置等の点検を行なう	◎	

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	町外へ社用車での出張が前年度より減ったため減少した。次年度も取組の継続。
アイドリングストップ	◎	
アクセル開閉度 80%で使用	◎	
エコ安全運転の実施	◎	
タイヤ圧の点検、車両整備点検	◎	
車両に無駄なものを積まない	◎	

軽油使用による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	チップ製造量が増えたことにより、フォークリフト・グラップルの使用が増加したことにより目標達成には至らなかった。
アイドリングストップ	◎	
車両整備点検	◎	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	建築資材や事務用品の梱包材などが増えた。事務用品などはなるべくまとめて注文をして梱包材を減らすようにする。
文書の電子化を推奨し用紙を削減する	◎	
ごみをこまめに分別し、再資源化を行う	○	

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	下請け工事が多かったため減少した。取組は引き続き実施。
ごみの分別を徹底してリサイクル率を上げる	◎	
適切な施工による産廃排出量の制御	◎	
マニフェストによる適正処理・監理に努める	◎	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ベトナム実習生の宿舎と共同のため、前年度3名が2名に減ったので使用量が少なくなった。引き続き取組を行う。
節水の呼びかけ	◎	
水道栓閉め忘れ防止	◎	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	あらゆる場面において環境を意識し、木の温かみと良さを生かし施主様の希望に沿う設計・建築ができた。次年度も続けて行う。
騒音・振動防止・汚泥防止	◎	
低騒音・被排ガス対策型機械の使用	◎	
工事着工前に環境配慮チェックをする	◎	
環境配慮工事の創意工夫提案	◎	

グリーン購入への取組



事務用品は積極的に「グリーン購入法適合商品」を購入

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	規制内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	事業者の責務:事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	遵守
	事業者はその廃棄物を自ら処分すること	遵守
	産業廃棄物の事業者の処理、産業廃棄物の委託契約	遵守
	産廃保管場所には掲示(60cm * 60cm 以上)	遵守
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付。(第1項)	遵守
	マニフェスト交付状況報告書の作成及び高知県知事への提出	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	建設資材廃棄物の発生制御、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	遵守
	再資源化の実施義務	遵守
資源有効利用促進法(リサイクル法)	事業者の責務:原材料等の使用の合理化を行い、再生資源及び再生部品を利用	遵守
建築基準法	特定の化学物質の使用禁止。内装仕上げの制限。換気設備の義務付け。天井裏等の制限。	該当なし
浄化槽法	浄化槽の保守点検 技術の基準に従って実施	遵守
	年1回の浄化槽の法定点検、清掃実施	遵守
	年1回の水質検査実施	遵守
水質汚染防止法	事業者の責務:事業者はその事業活動に伴う汚水又は廃液の公共用水域への排水、地下への浸透の把握とその防止に努める	遵守
消防法	消防設備の設置、点検(検査記録保管)	遵守
ダイオキシン類対策特別措置法	ダイオキシン類による環境の汚染の防止、又はその除去法をするために必要な措置を講ずる	該当なし
	高知県知事への届け出	—
大気汚染防止法	建設工事が特定工事に該当するか否かを調査し、発注者に書面で説明。掲示板の設置、掲示の事項	該当なし
フロン排出抑制法	機械の所有者(監理者)によるフロン漏えい点検	遵守
労働安全衛生規則 (フォークリフト)	1年以内ごとに1回、定期に自主検査を実施	遵守
	事業者は、1ヶ月ごとに1回、定期に自主検査を実施	遵守
特定特殊自動車排出ガス規制法(建設機械)	基準適合表示の貼ってある法律で定められた物の使用。制御指針に定める適切な燃料の使用、適切な点検整備(特定自主検査)	遵守
高知県環境基本条例	事業者の責務:公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	遵守
高知県清流保全条例	事業者の清流保全の努力	遵守
津野町景観条例	町、その他町の機関が実施する景観形成の施策に努力	遵守
高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例	四万十川の保全と流域振興への寄与	遵守
津野町四万十川の保全及び源流の振興に関する基本条例	四万十川の保全及び振興に関する方策への協力	遵守

(2) 違反、訴訟等の有無

関連環境法規への違反はありません。なお関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

訴訟及び環境に関する外部からの苦情・要望等はありません

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2023年5月25日

【総括】

全体的に目標達成できたが、仕事内容によって左右されるため引き締めて継続する。
新規設備投資に対しては環境に配慮した省エネタイプを導入することで、A重油の燃料の使用量を削減できたと思うが、製品製造よりもチップ製造が増えたことで、フォークリフト等の使用頻度が増え軽油使用量が増えた。取組については社員全員協力し環境に配慮した取組ができた。今後も継続して行う。

【環境経営目標の達成状況及びその評価】

- 電力使用量は0.3%減少し目標達成した。
- 軽油使用量は省エネに努力したが重機の使用が多く23.3%増加した
- 灯油使用量は約4%減少した。削減に取り組んだ成果が出た。
- A重油使用量は25.7%減少した。本年導入した超省エネタイプの木材乾燥機使用が影響した。
- CO2排出量は軽油使用量は増加したがA重油の減少により2.5%減少した。軽油使用量のCO2排出割合は22.5%、A重油の排出は17.6%であった。
- 一般廃棄物排出量は事務用品等の梱包材が増加したがほぼ達成した。
- 産業廃棄物排出量は下請け工事が多く減少したが、再資源化率は100%をキープした。
- 環境に配慮した資材の使用・工事の推進については、全件で達成できた。
- グリーン購入及び社会貢献活動も目標を達成した。

【環境関連法規類の遵守状況】

- 遵守した。

【外部からの環境に関する苦情や要望】

- なし

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

- ☒ 変更なし
- ☒ 変更なし
- ☒ 変更なし

- ☐ 変更あり ○○
- ☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
- ☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介



毎年、津野町の小学4年生が社会科見学に来ています。

